

平成 30 年度 十島村総合教育会議 及び
平成 30 年 十島村教育委員会第 3 回定例会 議事録

平成 30 年 12 月 3 日

十島村教育委員会

○日 時 平成 30 年 12 月 3 日 (月) 10:00～

○場 所 十島村役場 4 階会議室

十島村 総合教育会議 構成員

十島村長	肥後 正司
教 育 長	有村 孝一
教育委員	長谷川 裕起
教育委員	上田 洋子
教育委員	俣木 佳代子
教育委員	濱田 幸吉

○村長部局

副 村 長	福澤 章二
総務課長	村山 勝洋

○事務局

教育総務課長	安藤 浩樹
教育総務課主事	松下 宗磨
学校教育指導監	今村 徳幸
社会教育指導員	和田 章一

○議事日程

1 村長あいさつ

2 協議

(1) 行政報告

(2) 学校教育関係

(3) 社会教育関係

(4) 教育総務課関係

(5) 児童生徒数の増加に向けての取り組みについて

(6) その他

3 その他

4 教育長あいさつ

○議事要旨

1	村長あいさつ
村長	お忙しい中、日程調整をしていただき、また日頃のご支援をしていただきありがとうございます。各島の学校運営については教育長が上手くとりまとめている状況です。今年度については5島にALTの先生の設置をし、島の子ども達の英語学習に大いに貢献してもらっております。残りの2島についても来年度にはALTの設置をできるようにと思っております。
2	協議
(1) 行政報告 教育長	協議の前に11/28・29・30にかけてニュース番組にて放映された「来訪神：仮面・仮装の神々」のユネスコ無形文化遺産登録関係の映像の紹介 (資料に沿って説明)
村長	以上の件について何か質問等はないか。
教育委員	なし。
(2) 学校教育 関係 学校教育指導監	(資料に沿って説明)
村長	以上の件について何か質問等はないか。
上田委員	平島では部活動を実施していない理由はあるのか (P19 参照)
学校教育指導監	昨年度は生徒1人ということもあり部活動を行うことができなかった。今年は学校のほうで部活動実施について生徒に調査を行ったところ、生徒に部活動実施の意向がなかったため今年度も部活動をおこなっていない。来年度から行うのかというのは生徒の意向も兼ねた協議が必要である。
俣木委員	児童生徒が少ない影響で中学生が低学年と遊ぶ際に力をセーブして遊んでいるため中学生の運動能力が低下しているのではないか。(P19 参照)

学校教育指導監	島民やA L Tなど大人を含んだ活動の機会を設けるなどして、中学生が自分の力をセーブしなくてもいいように環境更正するようにしたい
俣木委員	児童生徒の放課後や休日の運動が最近見られない。先生方に休日に児童生徒を集めて一緒に運動をするなどの対応などをしてもらいたい。
教育長	校長研修会や教頭研修会などで協議してみる
濱田委員	諏訪之瀬島に来年からA L Tの先生が来るわけだが、仕事内容はどこまでなのか。例えばビーバーを使った草刈りなどはさせるのか。
教育長	登校指導や体育の授業への参加などはボランティアとして参加してもらっている。ビーバーを使った作業などは危険を伴うため、教育委員会と学校間での仕事内容についての事細かな話し合いをするつもり。
濱田委員	休日返上をして子供のために授業を行うことが保護者間で当たり前になってしまっているため、休日返上が普通ではないということを学校から説明などがあつたほうがよい。
教育長	去年は受験を控えた中学三年生の生徒がいたため、教師が「なんとかしないと」という気持ちで対応していた面もある。休日返上が普通でないことを学校から説明させるようにする。
(3) 社会教育 関係 社会教育指導員	(資料に沿って説明)
村長	以上の件について何か質問等はないか。
教育委員	なし。
(4) 教育総務 課関係	

教育総務課長 村長	(資料に沿って説明) 以上の件について何か質問等はないか。
上田委員	学校教室の空調整備は子供の教室だけでなく職員室へのエアコンの設置は行わないのか。
教育総務課長	交付金が普通教室のみの対象であったため普通教室のみの設置となっている。
(2) 児童生徒 数の増加に向け ての取り組みに ついて	
教育長	教育委員会では毎年、児童生徒 100 人を目標としている。教育委員の方々の児童生徒の増加に向けての意見を聞きたい。
濱田委員	山海留学の受入れは年々増えているが年度途中での転出の割合や転出の理由などは取りまとめているのか。まとめているならば今後、年度途中での転出を防ぐことができるのでは。
教育長	転出の割合は算出していない。参考にさせてもらう。
俣木委員	島の中で山海留学事業について関わりを持とうとしない人や留学生を複数名預かってくれている里親に対して「なぜあその家だけ」と妬みなど持っている人など様々な意見があるのが現状。
教育長	それらの問題は島の山海留学の受入れ組織に任せていいものだと思う。
上田委員	児童生徒を増やす目的や理由はなにか。寮のお陰で児童生徒が増えたのはとてもありがたく思うが、学級数の関係などで教員が対応しきれない場面も多く見受けられたのだが。
教育長	児童生徒を増やす 1 番の目的は島の活性化である。島の実情を把握して言いたいこともわかるが学校が閉校すると島が沈没するのが目に見えているため児童生徒を増やしたい。

上田委員	山海留学生に寮生がたくさん入ってきたことはありがたいことだが、寮生が寮と学校の往復のみで地域との繋がりを持っていない。学校と地域と寮の三角の関係をもっとしっかりと築いてもらいたい。
教育長	その問題については島の受入れ組織と学校と協議をしてみる。
上田委員	実際に山海留学を体験した留学生や留学生の実親に山海留学の良かった点や悪かった点を素直な意見で書いてもらったものをまとめれば外部により山海留学が伝わるのではないかと。 親子留学の実施を検討してみてはどうか。 1校に1つ、これだけは他の島には絶対まけないという「これだけは」という特色のあるものをつくらせPRさせるのはどうか。
教育長	1校に1つの「これだけは」負けないというものについてはつくらせているため、取りまとめをしてみようと思う。
村長	親子留学について本村は受入れ体勢をとっているのだがまだ浸透してっていない。より発信していきたい。
3	その他
教育総務課長	(委員への午後からの動向についての連絡)
4	教育長あいさつ
教育長	本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。今日出して頂いた意見については教育委員会でもしっかりと協議を行い、十島村の教育をよりよいものにしていくよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。